

党議団「県政だより・春号」が完成

くらしと地域経済を支える提案など紹介

日本共産党県議団（尾村利成団長、大國陽介幹事長）の「県政だより（2024年春号）」がこのほど完成しました。（写真）

能登半島地震を受け、県民の中には「島根原発2号機の再稼働やめて」「原発よりも省エネ・再エネの推進を」などの声



裏面では「くらしと地域経済を支える提案」で構成し、①くらし②産業③農業④子育て・ジェン

川本町議選（16日告示・21日投票）

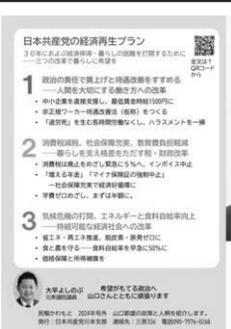
山口せつお氏が議席回復めざす

川本町議選が今月16日告示・21日投票でたかわれます。

日本共産党は、山口せつお氏（74）＝元＝が前回失った議席の回復をめざします。定数9人に対し、現職7人、新人4人、元職2人の立候補が

予想され、4人超の多数激戦の様相です。

山口氏は議員現職（2016～20年）の時、子どもの医療費助成の中学卒業までの完全無料化や地元業者などと共同して中小企業振興条例を制定。国保税1世帯1万円



山口せつお氏

日本共産党 県議団員

2024年4月16日告示、4月21日投票



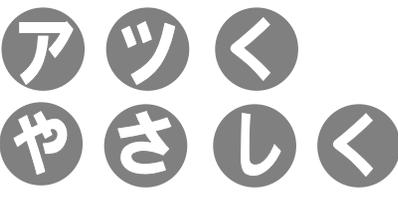
大平よしのぶ元衆院議員は、総選挙での比例議席奪還に向けて、SNSでの発信を強めています。スマホで左のQRコードを読み込んで、ぜひチェック・フォローしてください。

春の政治決戦 勝利めざす

3月末、今年の秋に市議選がたたかわれる島根県雲南市に伺いました。実に約2年半ぶりの訪問。前回かけたの



大平よしのぶ 衆院議員



は2021年7月、警戒レベル5の「緊急安全確保」が発令される規模の豪雨が同市を襲い、甚大な被害があった被災地の実態調査でした。飯石地区の自治会長さんが運転する軽トラックの助手席に乗せてもらい、説明を受けながら住居や農地の被害状況を見てまわったことをあらためて思い返しました。

同時に思い出すのは、あの当時コロナ禍の真っただ中で島根県知事が国に支援を求めたのに対し、雲南市も選挙区である島根1区選出の自民党衆院議員が「呼びつけて説教をしなければならぬ」と述べたこと。一方で、そんな彼が

喜び勇んで出かけていった先は統一協会の会合であり、その場で「今日の盛会を安倍総理にさつそく報告したい」など述べたというのですから、彼らがどこを向いて誰のために政治をやっているのか、正体見たいの思いです。

加えて、これまた民主主義の根幹をおびやかす裏金問題の中心人物でもあったとすれば、今月たまたかわれる同区での衆院補欠選挙は何より自民党を打ち負かすことこそが、私たちにとって国民から課せられた最大の使命だと肝に銘じています。

雲南市に伺った1週間前には、むらほえりこ党副委員長らとともに隠岐の島に渡り、島民

の引き下げも実現しました。2018年7月の西日本豪雨では、被災者から声を聞き、国会議員や県議と連携し、被災者支援の拡大や防災・減災対策の強化を国や県にも求めてきました。

地域の話題

松江 学校給食費無償化 党市議団が要求

松江市総合計画の『ここに生まれてよかった』ここで育ててよかった』松江とするために、教育費負担を減らすどころか増やす政策は方針に逆行するのではないかと、せめて「第3子から無償に」との声が高まっているとして、保護者負担の軽減と給食費の無償化を改めて求めました。（松江市議団二

アソビ

吉井議員が要求

重度心身障がいのある子どもの保護者から相談を受けました。障がいのある子どもが養護学校などへ通えるようになったことをきっかけに、現在、保育園に通園しているきょうだいについては、新年度から保育園に通えなくなると市役所から電話があったとのことでした。

吉井議員「市の保育園入所の手引では、保育を必要とする事由の中に「親族の介護・看護」がある。どう判定しているのか。子ども未来部長へ保育の必要性の判定にあたり

議員でない時も、新型コロナウイルス感染症の拡大で地域経済に深刻な影響が及んだ際には、町長に暮らしを守る対策強化を申し入れてきました。（写真：山口氏のリーフ）

健康医療対策課長へ医師・看護師確保への計上は、済生会江津総合病院への医療従事者確保の活動支援補助金で、済生会は医師・看護師各2人分の支援を求めている。（「こうつ民報」より）

多田議員「24年度当初予算案では地域医療対策に3億5531万円が計上されているが、医師・看護師確保の目標は、

では、入所申し込みの際に聞き取りを行い、介護・看護を要する期間などを書面で申告してもらっている。医師の診断書で介護の必要性を確認するなどして保育の認定を行っている。（吉井やすみ市議会報告）より）

津 済生会病院の再建 多田議員が質問